平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　武蔵野興業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9635　URL　http://www.musashino-k.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 河野　義勝
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 山崎　雄司　TEL 03-3352-1439

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	837	△1.7	186	―	183	―	173	―
23年3月期第2四半期	851	△14.7	△6	―	△8	―	△26	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　173百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△27百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	16.60	―
23年3月期第2四半期	△2.49	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	5,997	2,697	45.0	257.69
23年3月期	6,024	2,524	41.9	241.08

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　2,697百万円　23年3月期　2,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520	△8.5	230	―	220	―	195	―	18.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,500,000 株	23年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	29,898 株	23年3月期	28,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,470,563 株	23年3月期2Q	10,472,413 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……8
（４）継続企業の前提に関する注記 ……9
（５）セグメント情報等 ……9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（７）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国の経済は、平成23年３月に発生した東日本大震災の影響に加え、海外の経済環境の不安から円高が進むなど、依然として先行き不透明感が拭えない状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、映画興行事業部門は、個人消費停滞の影響に加えてヒット作不足も否めず低調な営業成績となりました。一方、不動産事業部門におきましては、不動産賃貸部門については大きな変化はなかったものの、不動産投資事業として取り組んでいる一部流動化不動産に対する匿名組合出資契約が終了し、留保されていた投資配当の一部分配が確定したため、前年同期に比べて大幅な増収となりました。また、自動車教習事業部門は、新規教習生の獲得が一段落する時期であるため売上高は伸び悩みましたが、概ね当初の見込通りに業績は推移し、商事事業部門においても、住宅関連資材の販売が景況の影響を受け苦戦する一方、外部に委託しているタピオカ入りソフトドリンクの販売は概ね堅調に推移いたしました。

以上のことから、前述の不動産投資配当収入の計上と、前期より取り組んでいる事業リストラの効果もあり収益の状況は改善し、売上高は８億３千７百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は１億８千６百万円（前年同期は６百万円の営業損失）、経常利益は１億８千３百万円（前年同期は８百万円の経常損失）、四半期純利益は１億７千３百万円（前年同期は２千６百万円の四半期純損失）となりました。

当第２四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

（「生産、受注及び販売の状況」については、当社は映画興行や不動産賃貸業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については、下記に示したセグメント情報ごとの業績の状況をご参照ください。）

（映画興行事業部門）

新宿武蔵野館で上映した「ちいさな哲学者たち」や「未来を生きる君たちへ」といった作品が一部映画ファンの間で話題となったものの、全般的にはヒット作品に恵まれず、また甲府武蔵野シネマ・ファイブ休館に係る売上減や残務諸費用の発生もあり、部門全体の売上高は１億６千５百万円（前年同期比17.5%減）、セグメント損失は３百万円（前年同期は１千３百万円のセグメント損失）となりました。

（スポーツ・レジャー事業部門）

閉鎖したコナミスポーツクラブ自由が丘の残務諸費用の発生があり、セグメント損失は９百万円（前年同期は２千万円のセグメント損失）となりました。 なお、売上高の計上はありませんでした（前年同期は１億１千３百万円の売上高）。

（不動産事業部門）

賃貸部門の入居状況においては大きな変化はありませんでしたが、留保されていた一部流動化不動産に対する投資配当の一部分配が確定したため、部門全体の売上高は３億８千１百万円（前年同期比57.2%増）、セグメント利益は２億９千３百万円（前年同期比83.5%増）となりました。

（自動車教習事業部門）

繁忙期である高校・大学生の卒業シーズンも終わり、例年新規教習生の獲得が難しい時期となりますが、夏の教習料金特別割引キャンペーンを実施するなど、教習生の獲得に力を入れてまいりました。その結果、部門全体の売上高は１億７千４百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は２千３百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

（商事事業部門）

住宅関連資材の売上は、震災の影響も少なからずあり景気回復の見通しが立たず、縮小傾向のまま推移したものの、東京都新宿区のタピオカ入りソフトドリンク販売店は、夏期の天候にも恵まれ、売れ行きは安定的に推移いたしました。その結果、部門全体の売上高は１億３百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は１千１百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

（その他）

主としてマクミラン・アリスの版権料収入や自販機手数料等でありますが、全体として売上高は１千３百万円（前年同期比16.6%減）、セグメント利益は５百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産の減価償却や除却、減損損失による減少などから、前連結会計年度末に比べ２千７百万円減の59億９千７百万円となりました。

負債合計は、有利子負債の返済を進めたことや、閉鎖事業所に係る未払債務の精算があったことなどから、前連結会計年度末に比べ２億１百万円減の32億９千９百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ１億７千３百万円増の26億９千７百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当第２四半期連結累計期間に、営業活動において１億１千３百万円、投資活動において３百万円の資金を得て、財務活動において１億３千４百万円の資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ、１千７百万円減少の４億５千４百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益１億７千４百万円、減価償却費３千２百万円があった一方、持分法による投資利益８百万円、仕入債務の減少額５百万円等があったことにより、１億１千３百万円（前年同期は５千８百万円の支出）となりました。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によって得られた資金は、貸付金の回収による収入２百万円等により、３百万円（前年同期比95.6%減）となりました。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によって使用した資金は、長期借入れによる収入１億１千万円があった一方、長期借入金の返済による支出２億２千２百万円等により、１億３千４百万円（前年同期は２億円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月7日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に掲載した数値を記載しております。

当第２四半期連結会計期間において、一部流動化不動産に係る匿名組合出資契約が終了したことに伴い、留保されていた投資配当の一部（160百万円）が確定し分配されたため、売上高に計上したことを大きな要因とし、業績予想を修正するに至っております。詳しくは上述の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	471,564	454,062
受取手形及び売掛金	46,503	38,104
たな卸資産	1,278	938
その他	59,142	89,649
貸倒引当金	△2,161	△1,797
流動資産合計	576,328	580,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	666,119	640,542
機械装置及び運搬具（純額）	9,881	8,219
工具、器具及び備品（純額）	35,172	32,348
土地	3,808,775	3,803,546
有形固定資産合計	4,519,948	4,484,657
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
リース資産	6,657	5,706
その他	10,903	14,631
無形固定資産合計	84,820	87,597
投資その他の資産		
投資有価証券	688,919	697,092
長期貸付金	625,816	509,246
敷金及び保証金	26,860	24,840
その他	63,477	56,122
貸倒引当金	△561,360	△443,416
投資その他の資産合計	843,712	843,886
固定資産合計	5,448,480	5,416,141
資産合計	6,024,808	5,997,097

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,875	60,565
短期借入金	424,360	412,580
未払法人税等	5,956	2,677
賞与引当金	11,118	8,190
その他	178,060	118,171
流動負債合計	685,370	602,184
固定負債		
長期借入金	642,483	542,083
退職給付引当金	162,277	145,451
役員退職慰労引当金	18,648	18,648
長期預り敷金	544,767	544,797
再評価に係る繰延税金負債	1,438,098	1,438,098
その他	8,743	7,838
固定負債合計	2,815,018	2,696,916
負債合計	3,500,389	3,299,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	△559,418	△385,562
自己株式	△7,088	△7,252
株主資本合計	437,993	611,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,202	△2,318
土地再評価差額金	2,088,628	2,088,628
その他の包括利益累計額合計	2,086,426	2,086,310
純資産合計	2,524,419	2,697,995
負債純資産合計	6,024,808	5,997,097

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	851,684	837,332
売上原価	493,358	336,465
売上総利益	358,326	500,867
販売費及び一般管理費	365,014	314,669
営業利益又は営業損失（△）	△6,688	186,197
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,646	2,006
持分法による投資利益	9,652	9,597
その他	4,503	1,889
営業外収益合計	19,801	13,492
営業外費用		
支払利息	21,555	15,437
その他	17	297
営業外費用合計	21,572	15,735
経常利益又は経常損失（△）	△8,459	183,954
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,734	－
受取保険金	2,937	－
その他	184	－
特別利益合計	5,855	－
特別損失		
固定資産除却損	3,537	4,252
減損損失	9,029	5,229
特別退職金	5,000	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,901	－
その他	1,065	－
特別損失合計	21,532	9,481
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△24,136	174,473
法人税、住民税及び事業税	1,985	617
法人税等合計	1,985	617
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△26,121	173,855
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△26,121	173,855

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△26,121	173,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,140	△115
その他の包括利益合計	△1,140	△115
四半期包括利益	△27,261	173,740
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,261	173,740

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△24,136	174,473
減価償却費	57,241	32,605
減損損失	9,029	5,229
固定資産除却損	3,537	4,252
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,901	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,730	△3,807
受取利息及び受取配当金	△5,646	△2,006
支払利息	21,555	15,437
為替差損益（△は益）	16	－
持分法による投資損益（△は益）	△9,652	△8,597
売上債権の増減額（△は増加）	9,658	8,399
たな卸資産の増減額（△は増加）	251	339
仕入債務の増減額（△は減少）	△20,720	△5,310
その他	△80,571	△93,494
小計	△39,267	127,521
利息及び配当金の受取額	5,632	2,006
利息の支払額	△21,256	△15,455
法人税等の支払額	△3,790	△617
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,681	113,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	－
有形固定資産の取得による支出	△2,122	△2,927
無形固定資産の取得による支出	△3,296	△4,871
貸付金の回収による収入	1,767	2,069
敷金の回収による収入	40,000	－
その他	4,333	9,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,682	3,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	110,000
長期借入金の返済による支出	△195,682	△222,180
リース債務の返済による支出	△5,314	△22,565
自己株式の取得による支出	－	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,996	△134,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△169,011	△17,501
現金及び現金同等物の期首残高	444,105	471,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	275,094	454,062

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他	合計
	映画興行事業	スポーツ・レジャー事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	200,172	113,142	242,674	170,373	109,677	836,038	15,646	851,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	35,208	―	―	35,208	―	35,208
計	200,172	113,142	277,882	170,373	109,677	871,246	15,646	886,892
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△13,463	△20,819	159,982	15,264	11,757	152,721	7,329	160,050

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版権事業その他であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	152,721
「その他」の区分の利益	7,329
セグメント間取引消去	70
全社費用(注)	△166,808
四半期連結損益計算書の営業損失	6,688

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他	合計
	映画興行事業	スポーツ・レジャー事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	165,134	—	381,386	174,165	103,591	824,278	13,054	837,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	35,208	—	—	35,208	—	35,208
計	165,134	—	416,594	174,165	103,591	859,486	13,054	872,540
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△3,181	△9,869	293,642	23,033	11,634	315,258	5,154	320,412

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版権事業その他であります。

２．「スポーツ・レジャー事業」のセグメント損失は、平成23年３月31日に閉鎖した「コナミスポーツクラブ自由が丘」に係る残務諸費用であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	315,258
「その他」の区分の利益	5,154
セグメント間取引消去	803
全社費用(注)	△135,018
四半期連結損益計算書の営業利益	186,197

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。